

# 事業結果要約報告書

受付番号

2021 KJ-004

—科学技術振興関係—

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

令和 4年4月11日

所属機関名 大和ミュージアム工作教室等運営協議会

申請代表者 吉田 公二

役 職 事務局長

フリ ガナ カネミツ サトシ  
氏 名 兼光 賢

マツダ財団から受けた 助成金 200千円 による事業結果について、  
次のとおり報告します。

助成事業名

コロナ禍でのワークショップの充実（オンライン、来館者への対応）

（事業期間：令和3年6月 日～令和4年3月31日）

	計 画	実 施 結 果
事業 内 容	日時 通年（令和3年6月～令和4年3月末） 場所 大和ミュージアム内（3階実験工作室ほか） 対象 児童・生徒 定員 なし 内容 コロナ禍においては、対面による科学イベント等の実施が困難であったり、ミュージアム休館のため、活動を休止したりせざるを得ない状況が多くなっている。 そんな中において、子どもたちの科学に対する好奇心や探究心を絶やさないために、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、オンラインを活用したワークショップ等の実施と、十分に感染対策をとったワークショップ事業の実施を行っていききたい。	日時 通年（令和3年6月～令和4年3月末） 場所 大和ミュージアム内（3階実験工作室ほか） 対象 児童・生徒 ほか  <b>オンラインによるワークショップ、サイエンスショーの実施</b> ▼動画投稿サイト「You tube」などを活用したワークショップ等動画の配信 ⇒大和ミュージアムHP内「科学実験工作班」のコーナーで動画を配信。身近なものを利用し、家庭で簡単に作れ、楽しく遊ぶことができる工作や、簡単に体験ができる科学実験などを紹介した。動画制作に必要な機材を購入。 現在、配信中の動画 「ライトセーバー」「チョコっとマグネット」 「マグヌスパイプ」 その他の動画を制作中。今後、順次配信。
	<b>オンラインによるワークショップ、サイエンスショーの実施</b> ・動画投稿サイト「You tube」などを活用したワークショップ等動画の配信 ・Web 会議サービス「Zoom」を活用した工作教室	▼Web 会議サービス「Zoom」を活用した工作教室 ⇒工作教室申込者へ、事前に工作キットを送付し、ミュージアムと参加者の双方向でやりとりしながらキットを完成させることを想定していたが、計画をより具体的させていく中で、利用する道具が各家庭において一律でないこと、子どもたちの技量も異なることが挙げられ、実施については、今後、更なる検討・試行等を実施予定。
	<b>ワークショップの感染対策と新しいプログラムの実践</b> これまで土・日のみの実施であったワークショップをミュージアムボランティアの会と連携し、ワークショップテーブル（3階 科学の展示室「船をつくる技術」内）で平日も実施する。	<b>ワークショップの感染対策と新しいプログラムの実践</b> 3階展示室、ボランティア活動の再開を想定し、感染防止対策をとった上で、事業実施を検討していたが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、展示室の開場、館内でのボランティア活動の制限解除には至らなかった。これら制限が解除された際には、速やかに事業を実施することができるよう、ワークショップで使用するペーパークラフトの製作や、それに関連する機材、ウィズコロナを想定した資機材等を購入した。

## 事業の目的・ねらい

「大和ミュージアム工作教室等運営協議会」では、呉市海事歴史科学館学芸課、大和ミュージアムボランティアの会と連携し、ワークショップ(簡単工作)や工作教室などを通じて、子どもたちの科学やものづくりに興味・関心をもつきっかけづくりを行っている。

コロナ禍においては、対面でのこれらイベント実施が困難であったり、ミュージアム休館により、活動を休止したりせざるを得ない状況が多くなっている。その中において、子どもたちの科学に対する好奇心や探究心を絶やさないため、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、オンラインを活用したワークショップ等の実施と、十分に感染対策をとった新しいかたちのワークショップ事業の実施を行う。

## 事業の概要

ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、オンラインを活用したワークショップ等の実施と、十分な感染対策をとった対面によるワークショップ事業を実施する。

### ● オンラインによるワークショップ、サイエンスショーの実施

- ・ 動画投稿サイト「You tube」などを活用したワークショップ等動画の配信

大和ミュージアムHP内「科学実験工作班」のコーナー(<https://yamatomuseum.securesite.jp/sci>)で動画を配信。身近なものを利用し、家庭で簡単に作れ、楽しく遊ぶことができる工作や、簡単に体験ができる科学実験などを配信していきます。

- ・ Web 会議サービス「Zoom」を活用した工作教室

工作教室(講師の説明を受けながら工作キットを製作(約2時間))を、オンラインで実施できるよう、試行を行う(申込者に対し、あらかじめ工作キットを送付。ミュージアムと参加者の双方向でやりとりしながら完成させる)。

### ● ワークショップ(常時)の感染対策と新しいプログラムの実践

科学の展示室「船をつくる技術」(3階)が再開された後、展示室内のワークショップテーブルを活用し、感染防止対策(パーティション、文具の消毒等実施)をとった上で、ワークショップ(常時)を実施。

## 成果・効果

### ○ オンラインによるワークショップ、サイエンスショーの実施

You tube 投稿動画制作に必要な機材(ビデオカメラ、スタビライザ、動画編集ソフトなど)を購入。

#### ▼現在、大和ミュージアムHP内で配信中の動画

「ライトセーバー」「チョコっとマグネット」「マグヌスパイプ」

(現在、そのほかの動画を制作中。今後、順次配信予定)

Zoomを活用した工作教室の実施については、検討を進める中で、参加者の各家庭にある道具が一律でないことや、子どもたちの技量も異なるなどの理由から、実施については、今後、更なる検討・試行等が必要という結果に至った。

### ○ ワークショップ(常時)の感染対策と新しいプログラムの実践

科学の展示室、ボランティア活動の再開を想定し、感染防止対策をとった上での事業実施を検討していたが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、展示室が閉鎖され、館内でのボランティア活動が制限されていたことから、実施に至ることができなかった。

しかしながら、これら制限が解除された際に、事業が実施できるよう、ワークショップで使用するペーパークラフトの製作や、関連する機材、ウィズコロナを想定した感染防止の資機材等を購入した。

感染防止の資機材については、現在、一部、館内で実施している他の科学イベント等で利用させていただいている。

想像以上に新型コロナウイルスの影響が長期に及んでおり、事業実施が困難なものも多々あった。しかしながら、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業の実施について、大きな自信を得ることができた。

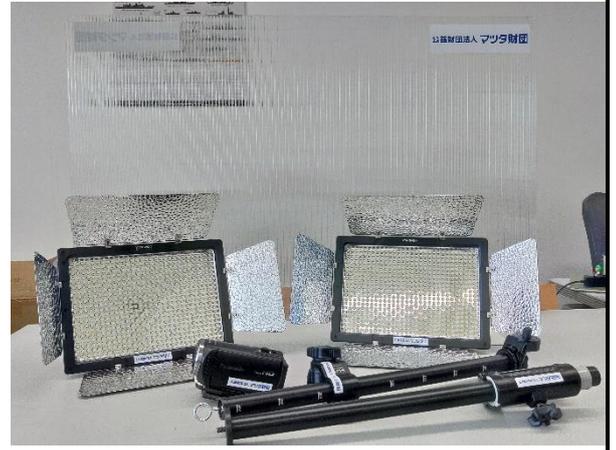
## 写真、図

### ●撮影機材の購入

ビデオカメラ, カメラ周辺アクセサリ  
ビデオ編集ソフト ほか

### ●新型コロナウイルス感染拡大防止対策

パーティションの製作, 文具の購入



### ●動画投稿サイト「You Tube」での動画配信

画面に「公益財団法人 マツダ財団」を入れ、  
協力いただいたことを表示。

現在, 制作中のものを含め, 当分の間, 制作  
した動画には協力いただいたことを明示する予  
定。

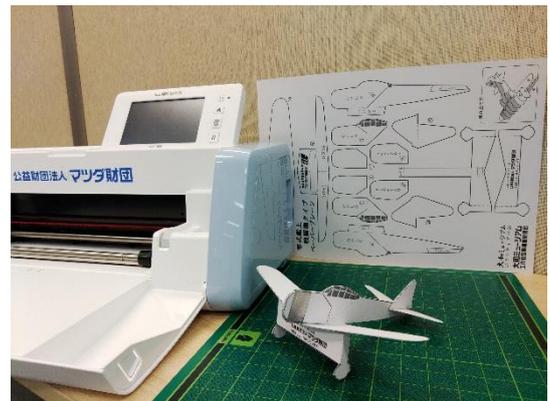
### ●ペーパークラフトの作製

#### とカッティングマシンの購入

館内大型展示室にある「零式艦上戦闘機」をモ  
デルにしたペーパークラフトなどを製作。

子どもたちが簡単に製作できるように, 事前に紙を  
カットできる機械を購入。

事業実施には至っていないが, 今後, 制限が解  
除された際は, これらを活用した事業を予定。



### ●感染拡大防止策

当初, 科学の展示室(3階 船をつくる技術  
展示室)内でのワークショップに利用を予定して  
いたパーティション等は, 展示室の閉鎖や, ボラ  
ンティア活動が制限されていたため, 他の科学  
イベント等で利用させていただいている。制限  
解除後は, 展示室内での利用を予定。